

競技注意事項

第3回名古屋市小中学校陸上競技大会

1 本大会は2024年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項申し合わせ事項によって実施する。

2 ナンバーカードについて

- (1) ユニフォームの胸、背に確実につける。走高跳、棒高跳、走幅跳は胸または背につけるだけでよい。
- (2) トラック競技は招集時にレーンナンバーによる「腰ナンバーカード」を貸与する。ランニングパンツの右横やや後方にそのままの大きさと明確に数字が読めるようにつける。
- (3) 腰ナンバーカードはフィニッシュ後、直ちに係員に返却する。

3 ウォーミングアップについて

- (1) レクリエーション広場が使用できる。(投擲物はメディスンボールのみ使用可)
- (2) 競技場内のバックストレート等を使用できる。
※ ただし、競技中のレースに支障のないよう、安全に十分留意して行うこと。

【ハードル優先時間】

12:00~13:15 (バックストレート【5-6レーン女子、7-8レーン男子】)

- (3) 地下駐車場・野球場軒下でのウォーミングアップは禁止する(特に雨天時)。
- (4) 競技場内での投擲練習は禁止する(公式練習のみ可)。
- (5) リレーのウォーミングアップにおいて靴やバトンをマークとして使用しない。

4 競技運営について

- (1) 競技運営上、競技日程及びピットを変更することがある。
- (2) トラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。
- (3) 欠場者のレーンは100m~400mではあける。800m以上については競技役員の指示による。
- (4) 計時方法は、写真判定(1/100秒)とする。
- (5) 短距離では、事故防止のためフィニッシュライン到着後も、自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
- (6) 不正スタートをした競技者は1回目で失格する。
※ スターターの合図は英語とする。(「オン・ユア・マークス」、「セット」)
- (7) 走幅跳の競技は2ピット、走高跳・棒高跳については1ピットで試技を行う。
- (8) 長さを競うフィールド競技については、トップ8の試技を行う。
- (9) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は、競技役員の指示に従って行うこと。
- (10) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のものが使用できる。

5 招集について

- (1) 招集所は、全種目第三コーナー付近の北側倉庫一か所に設ける。
- (2) 招集の受付は本人が行い、時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めない。
- (3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。なお、組数の多い種目に関しては、前後半に分けて招集を行う。

		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	全種目	40分前	20分前
フィールド競技	全種目	50分前	30分前

- (4) リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の60分前までに招集所に提出すること。オーダー用紙は、名古屋地区陸協ホームページに掲載されているものを印刷して使用するか、もしくは、招集所に準備してあるものを使用する。

6 競技場への入退場について

- (1) 入退場は南ゲート、北ゲートのどちらかから行う。
- (2) 正面ゲートから入場・退場できるのは競技役員のみとする。
※ただし、競技者が競技場スタンド1Fのトイレ・更衣室を使用する場合は入退場を許可する。

7 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

	練習A 練習B	1	2	3	4	5	
男子走高跳	1m40 1m60	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70以上は3cm刻み
女子走高跳	1m20 1m40	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45以上は3cm刻み
男子棒高跳	フリー	1m80	2m00	2m20	2m40	2m60	2m80は10cm刻み
女子棒高跳	フリー	1m80	2m00	2m10以上は10cm刻み			

※上記の高さ、競技運営は状況に応じて変更することもある。

8 競技用靴について

(1) スパイクピンの長さ

スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・ジャベリックスローは12mm以内とし、スパイクピンの先端近くで少なくとも長さの半分は、4mm四方以内でなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。

(2) 靴底の厚さ

本大会は、使用するシューズについては競技規則 TR5 を適応しない競技会として運営する。

9 表彰について

(1) 各種目の1～8位は賞状を授与する。

※ 受け渡しについては、競技会終了後に各所属顧問へ渡す。

(2) 各種目1位の選手にはTシャツを授与する。サイズ確認もあるため、本人がスタンド1F正面玄関通路まで受け取りに行く。

10 開会式・閉会式について

(1) 開会式と閉会式は、本大会は行わない。

11 入場規制について

(1) 競技場内での混雑を避け、競技運営を円滑にするために、以下のことを遵守すること。

① 競技終了後は競技場内に留まらず、スタンドかチームの待機場所にすみやかに移動すること。

② 競技場内で応援を行わないこと。

(2) 付き添い、引率者、保護者は、正面スタンドのみ入場できる。正面玄関横の外階段よりスタンドへ入場すること。

12 その他

(1) 各学校（クラブチーム）の指導者は、可能な限り審判に協力すること。

(2) 清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任もって行き、環境美化に努める。

(3) 忘れ物をしないように確認をしてから退場すること。

(4) 選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について以下のようにする。

※ 保護者および本人の理解がない撮影の禁止。

※ 観客席での撮影禁止エリアは下記のとおり。

◎ 各種目のスタート後方

◎ 走高跳、走幅跳、棒高跳の助走後方・着地前方

◎ 走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）

・選手がスターティングブロックの足合わせを行っている間や、試技を待っている間、身体を動かしている間など、競技の準備を行っている時。

※ 他者に著しく迷惑をかける行為として主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡します。